

川崎の魅力発信ワークショップ開催報告

1. ワークショップの目的

■川崎の魅力の市内外に発信する方法を検討するワークショップ

- ・2013年度のワークショップでは、川崎の魅力資源について「愛着があるもの」「他の人に推薦したいもの」に整理しました。今年度は、昨年度の結果を踏まえ川崎の魅力資源を整理し、その発信方法について検討する必要性が求められています。また、魅力の発信については、市民・事業者等で行うことが検討されています。
- ・このようなことから、今回のワークショップでは、川崎の魅力について市内外への発信方法を検討するワークショップを開催しました。

2. ワークショップの概要

日 時：2014年9月26日（金）18時30分～20時30分
場 所：中原市民館第3・第4会議室
募集人数：10名

3. 進め方

(1)ワークショップの内容

■魅力の発信方法のアイデア出し ⇒ ■効果的な発信方法の検討

- ・まず、昨年度出された川崎の魅力資源を踏まえ、これらを市内外の人に知ってもらうために、どのように情報発信するか参加者からアイデアを出してもらいました。
- ・続いて、アイデアを出してもらったら、次は参加者が情報を受け取る側になり、先に出された情報発信のアイデアを踏まえ、どのような方法がキャッチしやすいかを検討します。これにより、効果的な発信方法の検討を行いました。

(2) ワークショップのプログラム

- ・ワークショップでは、参加者を2つのグループにわけて、効果的な発信方法を検討しました。

ステップ1 はじめのあいさつ・趣旨説明

- ・川崎市よりはじめのあいさつ及びワークショップの開催目的、進め方などの説明をしました。



ステップ2. 川崎の魅力を確認しよう

- ・昨年度のワークショップで出された川崎の魅力の確認しました。



ステップ3. 魅力を発信する方法を考えよう

- ・川崎の魅力について、市内外の人にどのように伝えるか、アイデアを出し合いました。



ステップ4. 魅力が伝わるかどうか考えよう

- ・ステップ3で出し合った魅力の発信方法について、受ける方の立場になって伝わるかどうかを検討しました。



ステップ5. グループ発表

- ・グループで話し合った内容を発表しました。



ステップ6. まとめ

- ・全体のまとめを行いました。

4. ワークショップで出された意見の整理

「ステップ3. 川崎の魅力を発信する方法を考えよう」で出された意見

■ 市民向け発信方法(川崎の歴史と技術について)

アイデア (意見の整理)		出された意見	
イベントやツアーリズムを通じて PR する	イベントによる PR を行う	・多摩川を利用した水遊び、スポーツイベント	
		・渡しの復活 (丸子、二子)	
		・イベントで周知	
		・マンガ寺でマンガパーティ開催 ツイッター、FB で拡散	
	川崎市を巡るツアーを企画する	・歴史サイクリングマップツアー	
		・歴史ガイド	
		・(川崎にあった) 鉄道の歴史めぐりツアー	
		・東海道沿いにアンテナショップ	
		・府中街道の紹介をしたい	
	散策やマラソンコースの設定する	・東海道川崎宿の案内	
		・セグウェイで散歩	
		・歴史スポット回りマラソン	
	体験できる機会をつくる	・コース別に散歩	
・体験できるモニュメントを設置			
川崎の技術を身近なものにする	川崎の技術を使って話題になる製品を PR	・太陽光パネルを薄状にして、曲状可能にして、軽状にして服などに用いたい	
		・デング熱対策として養蜂家のネット状の服で蚊を Stop	
		・地熱を家屋の空調に用いたい、スマートエネルギー	
		・水力発電 段差を用いて発電可能 ex) 水車	
	川崎産の製品を市民に無料で配布する	・市内にただで配る⇒知ってもらう	
		・サンプルを作って希望者にプレゼント	
		・開発された技術が活かされた商品を市民に無料で配布	
	K S Pをもっと活用する	・具体的な科学技術がある	
		・定期的な発表会	
		・最先端の技術	
		・イベント⇒サイエンスアカデミー	
	周辺自治体・企業等とのコラボによる PRを行う	周辺市とコラボする	・多摩川流域自治体で、共同イベント
			・大田区、横浜市をまきこむ
企業とコラボする		・(川崎の技術力を) 企業とコラボして缶ジュースの表紙に掲載する	

アイデア（意見の整理）		出された意見
まちなかの広告の 充実させる	デジタルサイネー ジを活用する	・駅の電光掲示板で伝える
		・電車広告⇒市からの発信、企業とのタイアップ
	移動広告を行う	・ラッピングバス 光を使って派手に
		・お座敷列車を走らせ、名産品で宴会
子どもが興味もつ しかけをつくる	子どもに興味を持 たせる	・せせらぎ用水の歴史は？ 子供たちに紹介したい
		・学校で面白く紹介
	子どもに興味を持 たせるモニュメン トをつくる	・みんなが写真を撮りたくなる建物、モニュメント設置 ex. ガンダム(実物大)、サンレッド

■ 市外の人への発信方法(川崎の歴史と技術について)

アイデア (意見の整理)		出された意見
イベントやツアーによるPRを行う	夜景を広める	・工場夜景を海外へ発信 (ツアーなど)
	体験型イベントを開催する	・産業ミュージアム参加型⇒製品について学ぶ ・大人向けの技術周知 体験イベントの開催
川崎の歴史や出来事をネタにした小説・ドラマ・映画をつくる	川崎をネタにした小説、マンガをつくる	・多摩川宿河原などを舞台にした歴史小説 ・マンガで知る川崎の歴史 ・川崎の歴史にまつわる”マンガ賞” ”文学賞”創設
	川崎をネタにしたテレビドラマをつくる	・NHKドラマ化(大河ドラマ) ・テレビ ・ドラマ 産業の… ・公害をなくした歴史
	川崎をネタにした映画をつくる	・たくさんある映画館で川崎歴史ミニコーナー (CM) 上映
	川崎に関わる歌をつくる	・川崎の歌をつくる ・”レキシ”に川崎の歴史をうたってもら
広告・宣伝を活発にする	テレビ番組化	・全国ネットのCM ・週に1回程度 技術をわかりやすく紹介するテレビ番組
	公共交通機関を活用する	・駅にポスター掲示 ・バスの広告 ・歴史スタンプラリーを駅や中吊り広告で宣伝
	インフォメーションセンターをつくる	・各地にインフォメーションブース設置
	新聞を活用する	・新聞で連載
川崎グルメをつくる	川崎にちなんだ創作料理をつくる	・グルメ 創作料理フェス ・う飼い、あゆ料理
	川崎の歴史を活かした料理・食べ物をつくる	・歴史箇所にあふさわしい銘菓をつくる ・『のし』海苔の歴史
市営工場を建設		・市民のアイデアによる製品を生産する市営工場を建設

「ステップ4. 魅力が伝わるかどうか考えよう」で出された意見

■ 市民向け発信方法(川崎の歴史と技術について)

アイデア（意見の整理）		出された意見
多くの人の目につくものをつくる	公共サイン等を充実させる	・わかりやすい案内表示（現地）
		・歴史の碑
	ガイドマップの作成	・ガイドマップ
		・ガイドブック⇒川崎の歩き方 人気モデルが歩く or 既存の本
検索サイトのトップページに載せる	・ヤフーのトップページ、ヤフーニュース(TOP)ページ	
アドバルーン	・アドバルーン どこにもただよわせる	
みんなで共通のものを作って発信する	川崎のロゴを作成して市民みんなでPR	・川崎のロゴを作る
		・川崎のロゴを作る人気イラストレーター、デザイン等、クリエイター
	川崎Tシャツを作成	・佐藤可士和デザインのTシャツ
	キャッチフレーズ・キャラクターをもっと活かす	・キャッチフレーズ
・キャラクター		
イベントを開催する	・アイドル×歴史 市の名所で撮影会	
	・リバーピクニック	
既存の広報紙の充実させる	・市政だより	
	・町内回覧	
	・市政だよりをわかりやすく⇒老人にやさしく	
	・ミニコミ誌	

■ 市外の人への発信方法

アイデア（意見の整理）		出された意見（ポストイット）
メディアを活用する	テレビ等のメディアを活用する	・CM（ロケ）
		・テレビ（途中下車の旅）
メディアを活用する	テレビ等のメディアを活用する	・ドキュメンタリー 興味をひくようなテーマ
		・展覧型イベントとテレビ番組をコラボ
		・ラジオ、テレビ、CM
	SNSを活用する	・SNS FB ツイッター
		・スマホ活用、キッズケータイにwi-fi
	雑誌・新聞等の活用する	・ファッション誌のコラム
・デパートのショッパーにチラシが入っている		
川崎の話を知ることができる機会を設ける	いろいろな人から川崎の話を知ることができる機会をつくる	・町の長老から話を聞く
		・大学の先生から話を聞く
		・川崎市立大学（生涯学習含む）⇒社会的弱者を救済するためにも活用できる！ すべての人に！日の当たるように
	外国から来た人から聞く機会をつくる	・外国人の方から見た「川崎のよいところ」を聴く
川崎の技術が身近になるようにする		・体験⇒身近なところでできるといい
		・無料配布（カタログが毎月届き、川崎で生産された商品を選べる）
		・デジタルサイネージ
名所となるまち並みをつくり、広める		・民家園近辺に歴史的街道のまち並みをつくる
川崎の最先端技術を身近なものにする。		・川崎の最先端技術を活かして市民のアイデアを実現する ⇒(アイデア実現の)市調整 ⇒市営工場(市民のアイデアによる製品を生産)